



第3回学校関係者評価委員会を終えて

～委員の皆様ありがとうございました～

「学校評価」は、「めざす児童像」の実現に向けて、全教職員が、「方法や成果指標」を共有しながら、それぞれの役割を果たしながら取り組んでいくためのツールです。学校関係者評価委員の皆様には、学校評価をとおして、学校の取組みに対する、ご意見やご指導をいただいています。25日に行いました第3回学校関係者評価委員会では、授業を中心に学校の様子を見ていただいた後、学校が、自分たちの取り組んできたことについての最終報告をしました。主には、

- 授業にさまざまな工夫があり、子どもたちは落ち着いて学習をしている。
- あいさつ運動の取組みの成果が、授業における音読の場面にも現れている。
- 登校班のリーダーとしての役割が大切である。
- 学力テストでがんばったことが成果として現れたことが児童にやる気を出させている。
- 支援の必要な児童には、静かな環境で学ばせることが大切である。
- 成果の現れにくい取組みある。思い切ってやり方を変えてみることも大切である。

など、貴重なご意見をいただきました。

一番心に残ったのは、「先生たちの意欲が成果を上げた一番の理由」というお話です。何よりのほめ言葉とうれしく思いました。海田小学校教職員一同、これからも「前向きにがんばっていきます」。

「感謝の会」～「感謝の気持ち」を精一杯伝えました～

26日(火)の朝、今年一年、海田小学校の子どもたちの登下校の様子を見守ってくださった交通安全ボランティアさんへの感謝を伝える「感謝の会」を行いました。ボランティアの皆様には、本当に感謝しても感謝しつくせません。

お一人お一人からお話をいただき、子どもたちもこれまで以上にボランティアさんに親しみを感じたり、感謝の気持ちを強くしたりしたことと思います。ボランティアの方々からは、「子どもたちから元気をもらっている。」とありがたいお言葉をいただきました。これからも海田小学校の子どもたちは、「元気と感謝の気持ちを地域に届けます。」

